



IFA住宅設計室通信

innovation・future・architects

料金後納

ゆうメール

枚方を中心に、「建築家と建てる家づくり」を提案する IFA 住宅設計室。次世代へ受け継がれる家づくりを目指して活動を続けています。そんな私たちの目線で、家や暮らしにまつわる様々な情報や、スタッフの日常を綴ります。家づくりへの想いをお客様と共有できることを願って。

vol 98
2026.Jun

contents

建築家藤森大作氏インタビュー
マンションリノベーションという選択肢

家づくりの現場から
山之上の家・橋本栗ヶ谷の家

コラム
築 10年のお住まいを訪ねて 他



建築家によるCGパース(外観・内観)

7月
完成予定

岡山手町の家

Case : 土地を探して注文住宅を建てる
所在地/枚方市岡山手町



小川 文也 + 東野 友信

株式会社TOFU

TOFUは建築を通して常に社会と繋がっていたいと考えており、本質的なデザインを分かりやすく提案することで、お客様と価値を共有しながら、理想の家づくりに寄り添いたいと思っています。

敷地は丘陵地の最上部に位置する角地であり、プライバシーの確保と豊かな眺望を両立できる稀有なロケーションです。この圧倒的な眺望を日常に取り込むため、LDKを2階に、個室群を1階に集約する構成としました。プランニングにおいては、1階の駐車場や玄関、各個室をあえて整形の箱に収めず、それぞれの要求に合わせて自由に変形・配置。その有機的な1階の箱群の上に、長方形の2階ボリュームを緻密な計算のもとで積層させています。

1階に比べて床面積の広い2階を大胆にオーバーハングさせることで、1階のアプローチ部分に心地よいピロティ空間を創出。さらに、2階のボリュームから張り出した1階の個室上部を深いバルコニーとし、LDKに隣接させました。これにより、室内の面積をコンパクトに抑えながらも、外部の気配や空気感を優しく引き込み、実際の面積以上の広がりを感じられる空間を実現しています。



完成見学会・特別見学会は、公式LINEで先行配信しています

一般公開の完成見学会をはじめ、ご相談中のお客様限定の特別見学会、急遽開催が決まった見学会などを不定期でご案内しています。家づくりをご検討中の方は、この機会にぜひご登録ください。右のQRコード、またはLINEアプリで「IFA住宅設計室」を検索。





マンションリノベーションという選択肢

前号でご紹介した戸建てリノベーションと同様にマンションリノベーションも、多くのIFA住宅設計室のお客様に選ばれています。駅へのアクセスや人気校区など、立地を優先したい方にとって、マンションリノベーションは有力な選択肢の一つです。また、ワンフロアで暮らしが完結するため、将来を見据えたお住まいとして選ばれることもあります。既存の構造による制約はありますが、その条件を踏まえて理想の暮らしの空間をつくるのは、建築家の腕の見せどころ。素材や細部までこだわりながら、居心地の良い空間を実現できます。今回は、数多くの住宅設計を手掛け、ご自身もマンションに暮らす建築家・藤森大作氏に、マンションリノベーションの魅力や設計の考え方について伺いました。

■ 藤森氏が思うマンションの魅力は？

「景色を取り込みやすいことが大きな魅力です。特に高層階では眺望がひらけ、周囲からの視線も気になりにくく、カーテンなしでも過ごせることもあるし、風通しも良いですね。あとエレベーターで上がれば、その先は段差の少ないフラットな生活ができることも長所の一つ。上下階の移動がないので、空間同士が繋がりがやすく、家族の気配も感じやすいと思います。」

■ マンションリノベーションの制約と建築家の工夫

一方で、水廻りの移動など戸建てほど自由に計画できないことも少なくありません。どこまでの変更が可能かは、マンションの構造や規約によっても異なります。「ご要望を実現できるか事前確認が大切です。その上でどのように設計していくか。制約を理解した上で、水廻りの配管設計やメンテナンス、空調計画など、目に見えない部分も含めて空間の提案をしています。」空調では室外機を設置できず、共用廊下側の個室にエアコンを付けられないケースもあります。「その場合は、隣室との間仕切壁の上部を開放して、空間に広がりを与えながら冷暖気が流れるようにするなどの設計で工夫をしています。」建物内への光の入り方や風の流れをしっかりと考える、建築家ならではの提案です。

■ 制約があるからこそ、設計はより「濃密」になる

藤森氏が設計時に意識するのは、空間に変化や奥行きをつくること。「マンションリノベーションでは均一に整えすぎると退屈な空間になってしまうため、わざと陰影ができるようにしています。家具のディテールや素材にこだわったり、梁などの構造体も隠さず、空間の個性として活かしたり。自然と密度が濃い空間づくりができると思います。」

■ 廊下のない暮らしを実現したK様邸 | 9月完成・見学会開催予定

現在、枚方市内で工事が進んでいるK様邸は、海外の家のような空間構成が採用されています。「玄関を入るとすぐにリビング、キッチン、ダイニングがずばっと見渡せます。寝室や水廻りへもリビングからアクセスする計画で、廊下が一切ありません。日本の住宅にはあまり見られない大胆な構成となりました。また旅行やホテルでの滞在がお好きなことから、『ホテルライクな空間』が広がっています。」

またK様の、暮らしの一つひとつの時間を大切に考える考え方が、住まい全体に反映されていることも今回の家づくりの特徴です。「寝る、食事をする、お風呂に入る。日常の行為をより心地よい時間にするため、それぞれの空間のあり方について打合せを重ねながら設計を進めました。」アーチ状空間にタイルを張ったトイレや寝室をはじめ、それぞれの時間を豊かにする空間が広がります。「その行為をする時、その空間はどうあるべきか。普段以上に深く考えたプロジェクトでした。完成が今から楽しみです。」

IFA住宅設計室では、新築だけでなく中古マンション購入からはじめるリノベーションや、現在お住まいのマンションの全面改修など、様々なご相談をいただいています。K様邸は今年9月に完成予定です。完成見学会の開催も予定しておりますので、ぜひ楽しみにお待ちください。



壁付けから対面式にしたキッチン。排水勾配を確保するため、一段床から上げたタイル張りの床。



素材やディテールも吟味し、素朴でありながら落ち着いた品格のある住まいを目指しました。



家具の扉のディテールとその陰影。

現しにした梁と障子



石、タイル、様々な樹種の木。多様な素材を組み合わせることで奥行きが増す。

9月
完成予定



解体直後のK様邸

マンション リノベーション見学会

建築家：藤森大作 場所：枚方市
開催が決定しましたら、
HP・公式LINEにてご案内いたします。



藤森 大作

一級建築士 / 藤森大作建築設計事務所

その土地が持つ可能性とクライアントの要望をしっかりと読み解くことを大切に、素材を吟味し、年月を重ねるほどに味わい深くなる飽きのこない落ち着いた空間、家づくりを目指しています。

山の上の家

Case：土地を探して注文住宅を建てる

アウトドア趣向の家として計画した、暮らしに「ソト」のある住まいです。前面道路から2mほどの高低差を、階段で上がるアプローチの斜面に、樹々を植えることで、ニワをゆるやかに囲う計画としています。家本体からニワへ張り出したキッチンボリュームは、隣地との視線干渉を和らげながら、窓越しにキッチン台とニワを対面させる配置としています。アウトドアの食事を楽しむ際には、キッチンカーのように内外をつなぐ拠点として機能します。

緩斜面の住宅地に、ひと区画のキャンプ地がぼつんと現れるような佇まい。街と樹々、樹々とニワ、ニワとウチが、それぞれゆるやかに解け合いながら繋がって共生する。ここでは、暮らしそのものがキャンプのように、「ソト」へと開かれています。



建築家によるCGパース。
数年後、斜面地の植物が育ったイメージ。

7月
完成予定



竹内 美穂＋加藤 純

一級建築士事務所 作人

家づくりは「過程」が大切。たくさん話して大いに悩んで、楽しむこと。そんな対話が源となり、家のコンセプトを導きます。デザインは、「過程」を暮らして楽しい家へと繋ぐ架け橋です。

橋本栗ヶ谷の家

Case：土地を探して注文住宅を建てる



今秋
完成予定

建築家による外観スケッチ

平安時代に造営され、徳川家ゆかりの国宝石清水八幡宮から西側に下った山の中腹に「栗ヶ谷」という名の住宅地があります。かつて大手企業が合同で社宅用に開発されたと聞くその地域には、間口の広い大きな敷地がたくさん残っていて、その一区画がこの家の敷地になりました。麓には桂川、宇治川、木津川の三川合流地点、桜並木が美しい背割堤、背景には遠くの稜線が見渡せる自然豊かな環境です。

この敷地の北西部分は崖条例により建物が建てにくい為、配置計画はそこを北庭として活用することから始めました。建物はその北庭を囲むL型に、LDKは北庭と南庭に挟まれるように配置し、庭と庭とが見通せる大きな開口部を設けました。天井は半階分高い吹抜

けで、構造梁が規則正しく並び、2Fの書斎空間へとつながります。書斎の隅には小さなトップライトがあり柔らかな光が漏れてきます。派手な手法は使わず、各部と空間のバランスを整えることに重点を置き、静謐な空間になるように考えました。静かな空間はそこに現れる自然の移ろいを敏感に感じ取ることができます。つながり広がる静かな空間がどのような表情を見せるのか、秋の竣工が楽しみです。

実はこの家の施主は私の親族で、土地探しから同行しました。様々な土地の候補を見学し、ラフプランを作成しながら選定を進めました。吟味熟考、割り切り、決断、の過程を経て結果的に良い土地に出会えたと思います。土地が決まれば次は工務店探し、この場所に対応していただける数社で検討を重ねた結果、IFA住宅設計室さんをお願いすることになりました。決め手は家づくりの総合力、まずは現場をまどめる監督さんと大工さんをはじめ職人さんの施工力、仕事の丁寧さは勿論、現場の整頓状況はいつもすばらしい。それと家づくりに関するサポート力、融資関係やその他の手続きなどに経験豊かなスタッフの丁寧な対応は心強いです。またメンテナンス部があることも建てた後も安心できる大きなポイントです。

IFA住宅設計室さんとの仕事を始めて10年以上が経ち、様々な現場を見てきた率直な感想です。少し褒めすぎたかもしれませんが、T社長からの圧力とかではありませんので。



井上 昌彦

一級建築士／LVM建築設計事務所

自然を感じる暮らし、陽光の変化や風を感じ取る空間。時の流れとともに美しく変容する深みのある素材。その場所の良さ生かし、その人の日々の暮らしが楽しく豊かになる空間を考えます。

築10年の お住まい を訪ねて

お引渡しから今年で10年を迎える、京田辺市のT様邸。先日、IFAメンテナンス部と建築家・作人の加藤氏が訪れました。室内にはT様が選ばれた様々な家具や植物が置かれ、豊かな暮らしの空間が広がっていました。無垢の床や建具もまた、月日を経て色艶を増し、大切に住んでくださっている様子が写真からも伝わります。

IFAの家づくりでは、無垢材をはじめ多様な自然素材を使用しています。そのためメンテナンス訪問時には、素材の変化や納まり、使い心地などを確認させていただいています。T様邸では、外構の門扉に樹脂グレーチングを使用した建具を採用していました。当時、初めての試みでしたが、大きな不具合もなく、味わいのある雰囲気となり、加藤氏もとても嬉しそうでした。メンテナンス完了後には、改めて竣工写真の撮影をさせていただく予定です。ぜひ楽しみにお待ちください。

住まいの
メンテナンスについて

IFA住宅設計室ではお引渡し後も長く安心してお住まいいただけるよう、メンテナンスや住まいに関するご相談を随時承っております。お気軽にご相談ください。



撮影：作人 加藤純

建築家Essay

建築としての灯台

子供の頃から灯台に強い憧れを抱いていました。旅先に灯台があると必ず立ち寄って、登れるときには登ってきました。後に建築に携わるようになってからも単なる「海の道しるべ」としてだけでなく、広がる空と海の風景の一部として美しいアクセントとしてとらえるようになりました。断崖絶壁、岬の先端など人と自然の境界線にポツンと立つ塔として、それだけで詩情を生み出します。ほとんどの灯台の内部空間は、上部のランタンハウスへとつながるらせん階段だけで構成されています。うす暗く狭い空間をひたすら昇っていくプロセスは特別な空間体験となります。灯室へと達すると空間は一転360度ガラス張。圧倒的な開放感へと変わります。

そんな体験のできる「のぼれる灯台」ですが、近郊にも和歌山に潮岬灯台があります。本州最南端の高台に立つ石造灯台はイギリスの伝統的スタイルのものです。外壁は白く塗られていますがその下は切石積みで、台風の直撃を想定した強固な造りとなっています。内部は石のステップが美しいらせん階段が上部へとつながります。中央の吹抜けと均整のとれた石の構成美は職人



「潮岬灯台」1873年
設計：R・ヘンリー・プラントン



「潮岬観光タワー」

技の極みです。最後は梯子のような階段を上ると太平洋の景色を堪能できます。

そしてもう一つ登るべき塔がすぐ近くにあります。「潮岬観光タワー」です。こちらはエレベーターで登れるのですが、360度絶景すぎる風景と地球の丸い水平線も体感することができます。おすすめルートは、まず「潮岬観光タワー」で全体の風景を眺めて「望楼の芝」を散策しながら「潮岬灯台」へ向かい白亜の塔から絶景を楽しむのが王道ルートです。



交久瀬 常浩

一級建築士 / ジーピーアソシエイツ

家づくりはパズルのようなモノです。家族の想いをどこにハマるか考えることは、とても楽しいものです。ちょっとした工夫で空間が変化するような居心地のよい美しい住まいを目指します。

谷口 大介

代表取締役・プロデューサー

枚方市香里ヶ丘在住。中央大学文学部英米文学科出身、大阪経済大学大学院経営学研究科修士課程修了。2022年8月よりIFA住宅設計室代表取締役に就任。

社長 Column



2013年建築研究会にて撮影

いよいよ暑い日が増えてまいりましたが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。

先日、梅田で開催されていた「NAKED meets ガウディ展」に行つてまいりました。IFAの建築研究会でスペイン・バルセロナを訪れたのは今から13年前です。今でもバルセロナの街の雰囲気をおぼろげに覚えています。私が行ったとき、サグラダ・ファミリアは「イエス・キリストの塔」がまだできていなかったのですが、2026年に完成し、ガウディの没後100年にあたる今年6月10日に完成披露の除幕式とミサが行われるそうです。着工から144年を迎え、ついにメインの塔ができて嬉しくもありますが、完成してしまうのだと思うとなぜか悲しい気持ちにもなります。

ガウディの建築はバルセロナの街の象徴でもあり、市民にとっての誇りでもあります。ガウディ建築のすばらしさはファサードや細部にこだわったディテールだけではなく、設計に対する考え方にあると思っています。特に私が感銘を受けた考えに、光を「環境条件」で

はなく石や鉄と同じ設計すべき素材として考えていたことです。光の入り方まで設計することで、室内空間をコントロールしようとしていたのです。サグラダ・ファミリアに入って上を見上げた時の涙がこみ上げるような感動は、ガウディの光の設計によるものだったのです。

IFAの建てる家も外部からの光の入り方を建築家がかなり意識して設計しております。ずっと大切に住みたくなる家は数字的な性能だけではなく季節の変化や時間の変化を感じることができる空間が、住んでいる方の心の豊かさを育み、より強い愛着が湧いてくるものと思っております。住むほどに愛着が深まる家が地域に増えることにより、バルセロナに負けないぐらいの素敵な街並みになることを目標に、これからも一邸一邸丁寧に家づくりをしてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



完成模型

ひとり
ひとり
よるこび。
「すー」とこころにけこむよな



株式会社 IFA 住宅設計室

大阪府知事許可建設業(特-6)第122036号 / 一級建築士事務所(小)第20706号

ギャラリー

〒573-0048 大阪府枚方市山之西町27-30
TEL.072-846-1225 FAX.072-846-1226

枚方T-SITE 6階・7階

〒573-0032 大阪府枚方市岡東町12-2

工事部・倉庫

〒573-0064 大阪府枚方市北中振1-2-5

楽園不動産

株式会社 楽園不動産

大阪府知事(4)第54601号

〒573-0027 大阪府枚方市大垣内町1-1-10
TEL 072-845-0001 FAX 072-845-0003

IFA 住宅設計通信は、IFA で家づくりをしていただいたお客様、イベント等でアンケートにご記入いただいたお客様に送付しております。ご不要な場合は左記連絡先まで、ご連絡いただきますようお願いいたします。

IFA 住宅設計通信 発行：株式会社 IFA 住宅設計室 〒573-0048 枚方市山之西町 27-30

「建築家と家をつくる」をもっと身近に。

- ▶ 建築家と建てる新築注文住宅の設計、施工。
- ▶ マンション・一戸建てのリノベーション工事の設計、施工。
- ▶ 不動産探しから始める家づくりもご相談いただけます。

お問合せ先

0120-556-327

www.ifainc.jp

公式 HP へは QR コードよりアクセスいただけます



公式 SNS もフォローをお願いします！



@ifa.hirakata